

(掌は内側になる)

消える 五指の指頭を前方にさした両手の掌を向い合わせ、共に五指を徐々に曲げながら左右から接近させて両手が会う所で五指が全く握られて上下に重ね合わせる。映画の絞りの手法を真似たもの。(次第に周囲から円を締められて画面が消えて行く)

議員 政治—議論—委員。

記憶 「憶える」と同じ手まね。

気おくれする 「恐れる」と同じ手まね。

気をつける 監督——しっかりする。

機械 夫々人差指と中指を前方にさした両手を胸の前で平行にして、交互に前方から下へと丸く回転させる。

議會 政治—議論—會

気兼ね 「遠慮」と同じ手まね

期間 何月何日から(時の流れ—何月何日—まで(終り))

聞く 人差指の指頭で同じ側の耳に向って投げつけるように指す。耳に入れる。即ち聞くのである。

効く 薬——適する。

訊く 五指の指頭を前方にさし掌を左側に向けた右手を前へさし出して行く。「どうなの?」と相手に手をさし出して訊く身振り。「尋ねる」「何に」「どう」との疑問詞的に使われる手まね。

危険 「危い」と同じ手まね。

機嫌 (イ) 機嫌が悪い。親指と人差指の指頭を左右の眉の間につけるばかりにして、皮膚をつまむように二指の指頭を合わせる。機嫌の悪い時に、眉間に皺を寄せることを表わす。(ロ) 機嫌がよい。「機嫌が悪い」とは反対に、眉の間にした親指と人差指の指頭を合わさずに、二指の間を広く開く。

氣候 寒い—暑い—いろいろ。

岸 掌を上に向けて五指の指頭を左にさした右手を「水面」として表わし、その前に掌を下に向け五指の指頭を右にさした左手で、なだらかな丘陵を描いて岸を表わす。

氣質 心——癖

期日 「何月何日」の手まねでよし。

汽車 先ず煙突の手まねの要領で煙を表わして、掌を内側に向け五指の指頭を左にさした右手を汽車の車輻として、こまかく上下に動揺させながら左へ移行させる。

記者 新聞——「作家」と同じ要領の手まね。

徽章 人差指と親指でつくった輪を領の上につける。即ち、帽章を表わしたもの。

キス（接吻）人差指と親指で輪をつくった両手を二人の口唇になぞらえて、二つの輪を口の前でつけ合わす。

疵 赤（血）を表わしてから、人差指で頬

（或は疵したところ）を切る真似。

汽船 (4) 煙—船

(4) 片手「船」の形にして、その手首のところ、もう一方の五指を集めた手をスクリーンを表わすつもりでぐるぐると廻す。

競う 指頭を上にした両手の親指を胸の前で対立させ交互に上下させる。

規則 右手の人差指と中指をかぎに曲げたので左手の掌の上を叩たく。

北 指頭を上にした両手の人差指を併立させてから、夫々左右に「」を描く。即ち「北」の文字の輪郭を表わしたもの。

期待 未来<sup>大</sup>楽<sup>し</sup>い<sup>待</sup>つ

汚ない 指頭を上にした人差指で鼻梁横を上下にこする。油じみて鼻梁のふちのよこれを表わす。

貴重 「惜しい」「大切」と同じ。

貴遠い 五指の指頭を集めた両手を頭の右